

令和4年度「倫理」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	美術科	公民	倫理	4	選択
教科書	『倫理』(東京書籍)				
副教材	テオリア最新 倫理資料集(第一学習社)				

学習の目的
1 現代社会に対する関心を高め、意欲的に課題を追求する態度を養う。
2 広い視野に立って多角的・多面的に考察する力を養う。
3 社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断する力を養う。

学習の目標	
I 【習得】の段階 知識・技能	2千数百年来、人類が築き上げてきた知的遺産を知識として獲得し、さらに人間の本質を問うようなレベルで理解しようとする。
C 【活用】の段階 思考・判断・表現	現代社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化やさまざまな考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
E 【探究】の段階	共同体における倫理に関わる間にかかわる先哲の思想に触れることで、主体的に思考し、多くのことを問い、よりよい社会を築いていこうとする意欲と態度を深める。

つ け たい 力	みつめる力	課題発見力／収集したデータから違いを発見する力
	きわめる力	論理的に考える力／情報収集力
	つなげる力	既存のものを組み合わせて作り出す力／コミュニケーションする力

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査。考査では知識問題と記述問題を出題する。	○	○	○
◇ 夏休み中の課題や各学期中のレポートなどの提出物の状況		○	○
◇ Google Classroom「課題」を活用し、「思考を貫く問い」の記述課題を出題する		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 自分のあり方生き方や、現代社会の問題に引きつけて考える。
◇ 各時代の思想が各時代に与える影響について、それぞれを関連づけて理解を深める。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	関心 意欲 態度	思考 判断	知識 理解	技能 表現
第1学期	4	1 青年期の課題と自己形成 2 思想の源流 (1) 古代ギリシア思想 (2) キリスト教(イスラム教) (3) 仏教とその展開 (4) 儒教とその展開	●自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。 ●「ギリシャ哲学」「キリスト教」「イスラム教」「仏教」「儒教」では、先哲の言葉を適宜取り上げ、人間をどのようにとらえ、どのように生きることを指し示しているかについて、自己の課題と結び付けて考えさせる。		青年期の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	5				先哲の思想、源流思想の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	6				先哲の思想、源流思想の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	7				先哲の思想、源流思想の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
第2学期	9	3 国際社会に生きる日本人の自覚 (1) 日本人の精神風土 (2) 仏教と日本人の思想形成 (3) 儒教と日本人の思想形成 (4) 西洋思想と日本人の近代化	●日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。 ●現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。		日本人の思想の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	10	(5) 国際社会に生きる日本人の自覚			西洋思想、および現代社会の諸問題の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	11	4 現代を生きる人間の倫理 (1) 人間の尊厳の根拠を求めて (2) 民主社会と自由を求めて (3) 社会変革の倫理を求めて (4) 新たな人間像を求めて			西洋思想、および現代社会の諸問題の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
	12				西洋思想、および現代社会の諸問題の理解を深めるために、各自が自分で考え、それを互いに共有する授業を行う。その手段として、プリント学習を行うときは、各自が問に対して記述する箇所をもうけ、それを発表し合う機会を設ける。さらに、各自の探求を深めるために、一つの人物や項目を選び、400字程度にまとめ、それをさらに相互に理解し共有する機会を設ける。	○	○	○	○
第3学期	1								
	2								
	3								

※行事等で変更になる場合があります。